

横浜市金沢区「商店街連合会定例会」にて募集協力を得る

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 陸尉）は、12月13日（水）、横浜市金沢区「商店街連合会」の定例会議に参加し、募集協力を依頼した。

本会議は区内の各商店街会長らで実施されており、広報官は、募集状況について説明を行った。防大（推薦）や各種種目の入隊予定者の状況について話すと、興味津々に聞き入り、自衛官候補生の募集状況が厳しいことを知ると会長らは「協力しよう」と話し、商店街でのポスターの掲示や情報提供など、更なる募集協力を得るに至った。

また、「昨年の入隊者は元気で頑張っているかな」などの質問も挙がり、広報官は、隊員の様子を報告していた。

上大岡募集案内所は、今後もこのような行事等に積極的に参加し、防衛基盤の育成を図るとともに、自衛官募集への理解を深めてもらい、募集成果に繋げていきたいとしている。



広報官の募集状況の説明に聞き入る各商店街の会長たち

自衛官候補生募集の危機的状況打開のため積極的市街地広報を実施

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山 海尉）は、全国的に自衛官候補生の志願者不足が予想されていることから、その危機的状況を打開するため、利用者の多い主要駅前を中心に週4日積極的に市街地広報を実施し、自衛官募集を多くの人たちに呼びかけている。

12月14日（木）、大和市内の中央林間駅（小田急線、東急田園都市線）では、陸海空自衛隊の制服姿の広報官が募集リーフレット200部、迷彩柄ポケットティッシュ300個を若者たちへ声を掛けながら手渡した。

三沢基地三沢管制隊に所属し、神奈川地本募集課に臨時勤務中の女性自衛官野田 沙智子空士長は、行き交う人から「制服を初めて見ました」「大変な仕事ですが頑張ってください」「いつも通るところで見かけると、親近感を持てます」などと声を掛けられると、笑顔で対応していた。厚木募集案内所は、自衛官募集をPRするため、様々な方法を施策し、実行していきたい。市街地広報は地道な活動ではあるが、徐々に募集成果も得ており、今後も積極的に実施し、1人でも多くの志願者を獲得していきたいとしている。



市街地広報に励む臨時勤務中の野田空士長（手前）と広報官（奥）（中央林間駅前）